

# 江商連ニュース

## 江東区商店街連合会機関紙



平成17年 3月 発行  
 江東区商店街連合会  
 広報部  
 情報ネットワーク部  
 江東区東陽4-5-18  
 江東区産業会館2F  
 TEL 3645-1231  
 FAX 3645-1150

# 2005 新年賀詞交歓会 開催

江東区商店街連合会・振興組合連合会の平成17年新年賀詞交歓会が一月二十四日(月)ティアラこうとうに於いて総勢一八〇名余りの出席を得て盛大に開催されました。

江東区商店街連合会会長 唐川 和夫

新年あけましておめでとう  
 ございます。また、区長さんをはじめ、ご来賓の皆様にはご多用のところご出席を賜り厚くお礼申し上げます。昨年はひとかたならぬお世話になり誠にありがとうございました。さて、振り返りますと昨年はまさに「災」の一言につきると思います。猛暑に始まり多くの台風の襲来は大雨だけでなく洪水と二次災害を各地にもたらし、さらに中越地震は直下型大地震の恐ろしさを日本列島に見せ付けました。まさに自然災害に見舞われた年でありました。遅ればせながら中越地震災害には短い期間ではありましたが三十万円の義援金が集まり、直ちに新潟県商店街連合会に送金させていただきました。一日も早く復興されますよう念じております。併せて十月に江東区と当商連において「災害時の

協力協定」を締結しました。これを報告させていただきます。また、行政の協力を得て区要網の改正、即ち商店街未加入の事業者宛に文書を作成し広く商店街に加入の呼びかけを致しているところであり、次に区が進める少子化対策の一環としての「いわゆる「ハッピーセカンド事業」で二人目の赤ちゃんより「区内共通商品券」二万円分を贈呈するもので、去る十一月から実施されました。一方、亀戸地区商店街が歯抜けになり財政不安を招いております。その他「小名木川跡地開発」問題等諸問題が山積し重い荷物を背負っております。それらを時間には掛かりますが一つ一つ辛抱強く解決して参ります。それには皆様の「知恵と力」をお借りしながら努力して参ります。また、まちづくりの環として観光事業の重要性が叫ばれている昨今ですが、商店街の活性化は有力な観光資源であると考えます。地域に密着する商店街は益々その使命は大きくなって行くものと信じます。とにかく悲観論に落ち込み易い世相、店主の皆さん、今こそ新しい価値観を見出し、特徴のある商店街

づくりと地域社会の貢献に向かつて頑張ろうではありませんか。おわりに、本日ご出席を賜りましたご来賓の皆様のご指導と会員の皆様のご健勝と商売繁盛をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



年頭にあたって  
 江東区長 室橋 昭



新年あけましておめでとう  
 ございます。江東区商店街連合会の皆さんには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年のわが国の経済状況は大企業を中心に全体的に回復基調であったと言われておりますが、地域商業においてはまだまだに景気回復の実感はない

く、加えて原油価格の高騰、定率減税の縮減など個人消費に悪い影響を与える懸念材料も多く、まだまだ厳しい状況であると思われま。本区では中小企業の振興のため、これまで東京都の新・元気をだせ商店街事業と連携した商店街の環境整備やイベントに対する助成など商店街の活性化や産学公連携による活性化支援など各種の産業振興施策に取り組んできました。昨年の区民まつり開催の際には、商店街活性化の一つとしてプレミアム付き区内共通商品券三千万円分の発売を支援し、子育てを支援するハッピーセカンド事業においては、区内共通商品券を活用しましたが、さらに今後とも支援を充実してまいりたいと存じます。

また、区商連におきましては区要網改正を受け現在商店街に未加入の個店に対する加入促進への取組みや災害時における応急物資の供給に関する災害時協力協定の締結など、区と協力体制をとりながら一体となったまちづくりに取り組む姿勢が伝わってまいります。今後とも、より一層の結束を固められ、商店街を取り巻く厳しい状況を乗り越えるよう期待をいたしております。最後に商店街連合会のみならず、皆様のご発展と会員各位のご繁栄を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

# 商店街大学の受講を終えて



門前仲町通り商店街振興組合 青年部長 石崎英光



昨年の12月7日、商店街大学閉校式に無事臨む事ができました。思い返しますと猛暑の中、開校式後に行われた第一回講義から最後まで冷や汗のかき通しだった様に感じます。単に講義の感想を述べるのではなく講義内容を踏まえた上で別の設問について意見を求められディスカッションしていく形で進められました。学長がどのような切り口で質問して来られるか判らない為、受講生は頭をフル回転して講義に集中し緊張感のある時間を過ごす事になります。ただその後のディスカッションでは学長のユーモアを交えたお話の進め方が多少救いになりました。また現地学習として荏原町商店街（振） 烏山駅前通り商店街（振）そして私ども深川仲町通り商店街において頂けた事は大きな収穫でした。見学は商店街の概略が説明された後、学長より見学にあたってのポイントが示され、その後自由見学になりますが、学長から指示されたヒントが明解なので効率的に見学でき、その後ディスカッションに入ります。見学してみますと両商店街とも大型スーパーへの対策や共存の為に一丸となって取り組んでいる熱意が感じられました。特に集客イベントに関するアイデアには参考にする部分が多く大いに刺激を受けました。早速私ども商店街の事業部で取り上げられ活用させていただきました。そして私ども商店街の出番になりました。観光などで門仲に来られた人は何か印象を持たれてもなかなか情報を落として行ってはくれないものです。その点同じ商人としてプロの立場でご意見を頂けた事は幸運でした。その中には内側に居ては解らない様な貴重なご意見もあり、目からウロコが落ちる思いでした。足元ばかりに気を取られ道を見ていなかったと反省させられた次第です。

この研修事業は都商連に加盟する商店街から受講生を選出して開校していますが、受講して感じたのはそれぞれ商店街を代表して受けるのではなく、個人の育成に比重が置かれている事です。現地学習で門仲へお越しいただいた時に、商店街を挙げて歓迎会を行いたいと事務方からの申し出をキツパリと固辞されたのがその事をよく表しています。最終回に行われた卒業スピーチの課題「商店街の中の商人として、これから自らをどのように鍛えて行くべきか」このテーマを胸に刻み今後の商店街活動に生かして行きたいと思いをします。

## 消費者研修会 (奥様重役会) **元気の出る研修会** 開催

### 雪国の商店街視察と季里の湯の湯沢懇親会

例年通り商店街視察後は昼食と入浴で寛いで頂き、明日への活力としていただけるよう企画いたしました。視察の様子は次回商連ニュースにてご報告いたします。

日時場所：平成 17 年 3 月 13 日（日）湯沢商店街視察 湯沢グランドホテル

集合場所：1号車 江東区役所 午前7時集合 7時30分出発

2号車 大島区民センター 午前6時50分集合 7時出発

参加費用：6,000円

定員：80名



消費者対策部長 永野茂治

**新潟県中越地震 義援金のお礼**

この度の新潟県中越地震の義援金を募集した所、各商店会より暖かいご支援を頂き総額 30 万円となりました。昨年 12 月 10 日東京都商店街連合会を通じ新潟県商店街連合会へお送り致しました。皆様のご協力に対しこの場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

## 体験学習受入決定

事務局

この度、宮城県多賀城市東豊中学校からの依頼により当区商店での体験学習を受け入れる事になりました。これを機会に江東区内の商店のイメージアップと観光PRを通じて県外からの集客を図り販促に繋げて行く事も重要と考えました。関係商店街の皆さん、主旨をご理解の上暖かいご協力をお願い申し上げます。

- ・日 時：平成 17 年 5 月 20 日（金）午前 10 時～午後 3 時
- ・対 象：中学三年生 72 名（修学旅行）
- ・商店街：区内 9 商店街が受入
- ・編 成：原則として二人一組とする





# 出張常任理事 後継者・経営者 合同研修報告

総務担当部長 渡辺哲二

【日時】平成十七年二月二十日～二十一日

【場所】神奈川県茅ヶ崎市商店街、横浜市洪福寺松原商店街

【目的】環境問題はますます深刻化し、商店街としては「環境にやさしい買物キャンペーン」が展開されるなど環境に配慮した商品等の販売促進を強く求められている。そこで今回は「環境と経済」をテーマにして積極的に取り組んでいる茅ヶ崎商店街を訪問し、具体的な事例を聞き、さらに横浜洪福寺松原商店街を見学し、当区商連の今後の取組みの参考に供する。

## 【研修概要】

### 《茅ヶ崎商店街》

・消費者団体と組んで消費者が困っている事項に取り組んで変化を出す。

・大型店の進出に對し、ただ反対運動をするだけでなく、お願い運動として替わりに「環境と経済」をキャッチフレーズに市民と繋が



・市民参加、行政も団体も一緒にまちづくりに取り組んで行きたい。  
・江東区商店街連合会発行の「いろはかるた」をホームページで拝見しましたが素晴らしいので

るまちづくりに取り組んでいる。

・環境問題のスタートは、ピン商組合と連携してリターンルビンから始めた。

・生ゴミの堆肥化は各商店で発生した物を作業現場に運搬し、商店街で発生した落葉を加え発酵させ減農薬野菜、花等を作り商店会に還元する。

のき先駐輪場設置  
・自転車商と連携してレンタル号開始

・大型店は今まで売りたい事だけをやってきた。我々商店会は消費者にライフスタイルを提案する。即ち商店側からは日常の小さなことから取り組む、これが環境である。それにはまちを愛

することからの提案である。

・市民参加、行政も団体も一緒にまちづくりに取り組んで行きたい。

・江東区商店街連合会発行の「いろはかるた」をホームページで拝見しましたが素晴らしいので

全部印刷して会員に配布させて頂きました。

《洪福寺松原商店街》

・安さと人情で毎日が大売出し」をキャッチフレーズにしているがまさにその通り展開されている。

・江東区の砂町銀座商店街を思わせる賑わいである。  
・ここでも生鮮三品の集客力の強さを思い知らされた。  
《仲野中小企業診断士講義》  
・「暮らした環境とまちづくり」概要  
茅ヶ崎商店街連合会での研修は私自身の勉強にもなった。



## 常任理事会 報告

11月18日(出席14名)

### 【会長】

・商店街未加入事業者調査の中間報告と対応

・子育て支援事業の共通商品券使用と対応

・新潟県中越地震募金活動への協力

【運営委員会】

・区内共通商品券事業の検証と拡充

【総務部】

・災害時における応急物資供給に関する協定の調印締結

【事業部】

・ふるさとまつりバザール事業報告

・商業まつり感謝セール経過報告

【広報部】

・第65号区商連ニュース11月末発行

12月10日(出席10名)

執行部会

【会長】

・NPOの地域通貨学習会開催の件

【総務部】

・平成17年度新年賀詞交歓会開催について

【事業部】

・新潟県中越地震義援金の送金  
・今年度の計画残事業の推進について  
【情報ネットワーク部】  
・商業まつり感謝セール実績報告  
・情報ネットワーク部  
・経営者IT研修終了(11月12日)

2月10日(出席18名)  
執行部会合同

・NPOと地域通貨について講演  
山と街の手作り交流紹介

【財務部】

・平成17年度予算について

【総務部】

・出張常任、後継者・経営者合同研修  
・体験学習の受け入れについて

・江東区地域商業活性化討論会について

【厚生部】

・奥様重役会(消費者のための研修)開催

## 編集後記

今話題のホリエモンこと、ライブドアの堀江社長をあなたはどう思われますか？彼の言動や服装にNHKニュースから民放のワイドショーまで賛否両論入り混じって放送されています。賛否はともかく若手が既存の体制に向かって挑んでいる姿勢に、拍手を送りたくなる私は少数派でしょうか。商店会の中で「何も解らない若者が突飛な意見を言うて相手にされず、だんだん発言しなくなってしまう」なんて事が起きない様、役員諸氏には広い心と聞く耳を持って頂きたいと思えます。突飛な発想から新しいアイデアが生まれる事もあるのでは。『常識も世代替われば 非常識』なんていう川柳もあるんですよ。・  
広報部 石井正彦

**区内共通  
商品券**  
加盟店募集中



# 韓国商業祖察団参加報告

韓国商業視察団に

参加して

区商連会長 唐川和夫

師走もおしせまった十五日より四日間にわたり区の自民党区議団と共に韓国商業視察に参加し研修旅行をしまいにりました。先ずJALにて釜山に着き港町として、また商業都市としての活気あるザガルチ市場と国際市場を見学し、併せて日本との関わりある歴史と町並みを視察し翌日は在韓国際連合記念墓地を訪ねた後、日本語サイトもある韓国版新幹線(KTX)に乗りソウルまでの約三時間の汽車旅行を満喫させていただきました。三日目は日韓国交四〇周年に当る二〇〇五年を日韓友情年と位置づけ文化、経済、スポーツなど幅広い分野で交流して、また当区と姉妹協定を結んでいる城北区役所に立寄り龍山区議会を表敬訪問し歓迎されました。一行はソウル市内のパワーと賑わいが弾けた南大門市場と迷宮み

たいな市場の集合体の東大門市場、そして小粋ではありますが気取らない明洞(ミョンドン)の繁華街を見学してまいりました。最後の日は韓流ブームの市街地を見学した後、鰲頭山(オドゥサン)展望台いわゆる38線まで足を伸ばし、世界で唯一残されている冷戦の遺産である南北分断という悲劇的な現実を理解し平和と繁栄がそして南北統一が一刻も早く到来することを願っております。帰路はソウル国際空港より途につきましたが日本に追いつけ追い越せではなく、独自の発想と創意、また単なる国民性の違いより、大陸につづく大らかな人情に熱い気質を垣間見る感じでありました。最後に企画、実行されました米沢正和、堀川幸志、佐藤利三の諸議員の先生方には書面を通じ感謝申し上げます。



一昨年、石原東京都知事の提案により犯罪のない明るい東京を目指した街づくりの一環で立ち上げられた防犯カメラの設置で犯罪防止を目指し都内各区毎に二ヶ所を定義づけられました。昨年から随所で設置が始まりました。江東区でも城東警察署を介して私共、砂町銀座商店街が選ばれました。折りしも砂町銀座は街路灯の建て替えを進めており、商店街としては資金の面で難しい時でもあり正直のところ躊躇いたしました。長引く景気の低迷と大型店の煽りで組合員の負担は重く有難い話と雖も喜んではいられません。しかし、お客様及び商店街の先々を考えると大変重要なことであり組合員の同意を得られる様、役員が一丸となり説得に当たりその結果今日の完成を見たのであります。今回完成した街路灯は格子戸をイメージした行灯風のデザインで五十二基のレトロな街路灯に二〇台のカメラを設置、フラッグには防犯カメラ作動中の文字をさりげなくあしらっており安心して買物ができる商店街を演出いたしました。防犯カメラの設置にあたっては個人

防犯カメラ設置

砂町銀座商店街振興組合理事長

竹井幸三郎

の肖像権やプライバシーに配慮し、防犯カメラの運用には規約を商店街として独自に策定いたしました。記録の映像の閲覧には警察署の特別な要請があった場合のみ担当の役員立会いの下で閲覧を定めました。それなりの費用がかかりましたが完成後はお客様が安心して買物していただくホットとしております。今までは自転車で買物に来て籠の中の野菜類まで盗難にあった話も数ありました。お陰様で砂町銀座商店街は時間によつて大変混み、そのスキを狙って盗難も発生しております。防犯カメラの設置で砂町銀座に行くのが楽しみですとの声も聞かれる今日この頃です。

